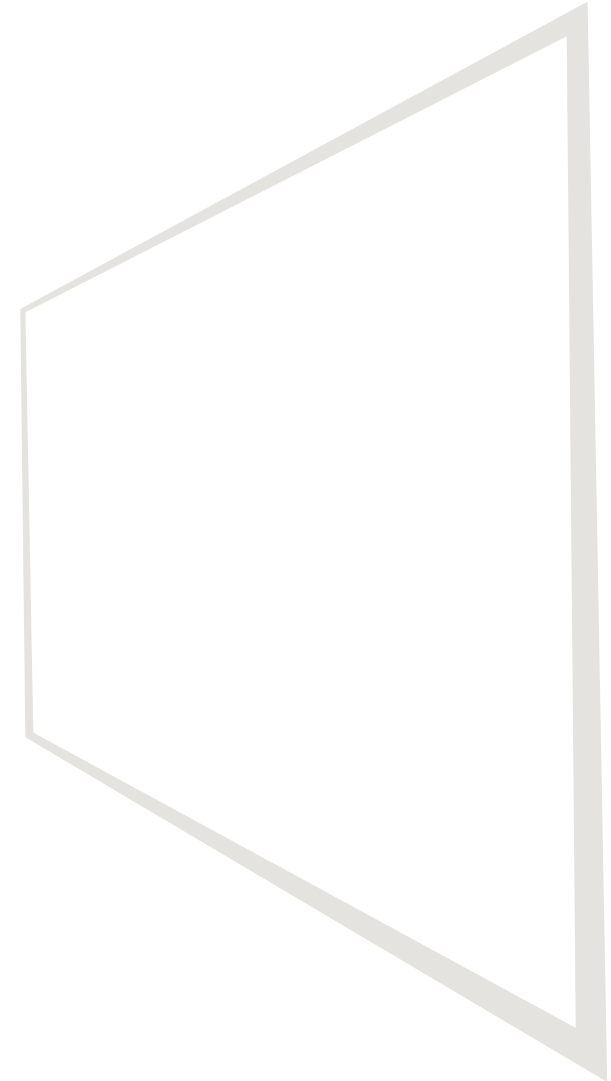


コニカミノルタ株式会社 2026年3月期（2025年度） 第1四半期決算説明会

2025年7月31日

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充



2025年度 1Q業績



KONICA MINOLTA

2025年度 1Q業績 | 全社サマリー

- 売上高 : 減収（為替、オフィス/機能材料/プロダクションプリント、事業の選択と集中）
- 事業貢献利益 : 増益（売上総利益率の改善、グローバル構造改革効果による販管費率の改善）
- 営業利益 : 増益（構造改革費用など一過性費用の剥落など）
- 当期利益 : 増益（Tempus AI株式評価益および売却損）
- 関税影響 : 軽微

【億円】

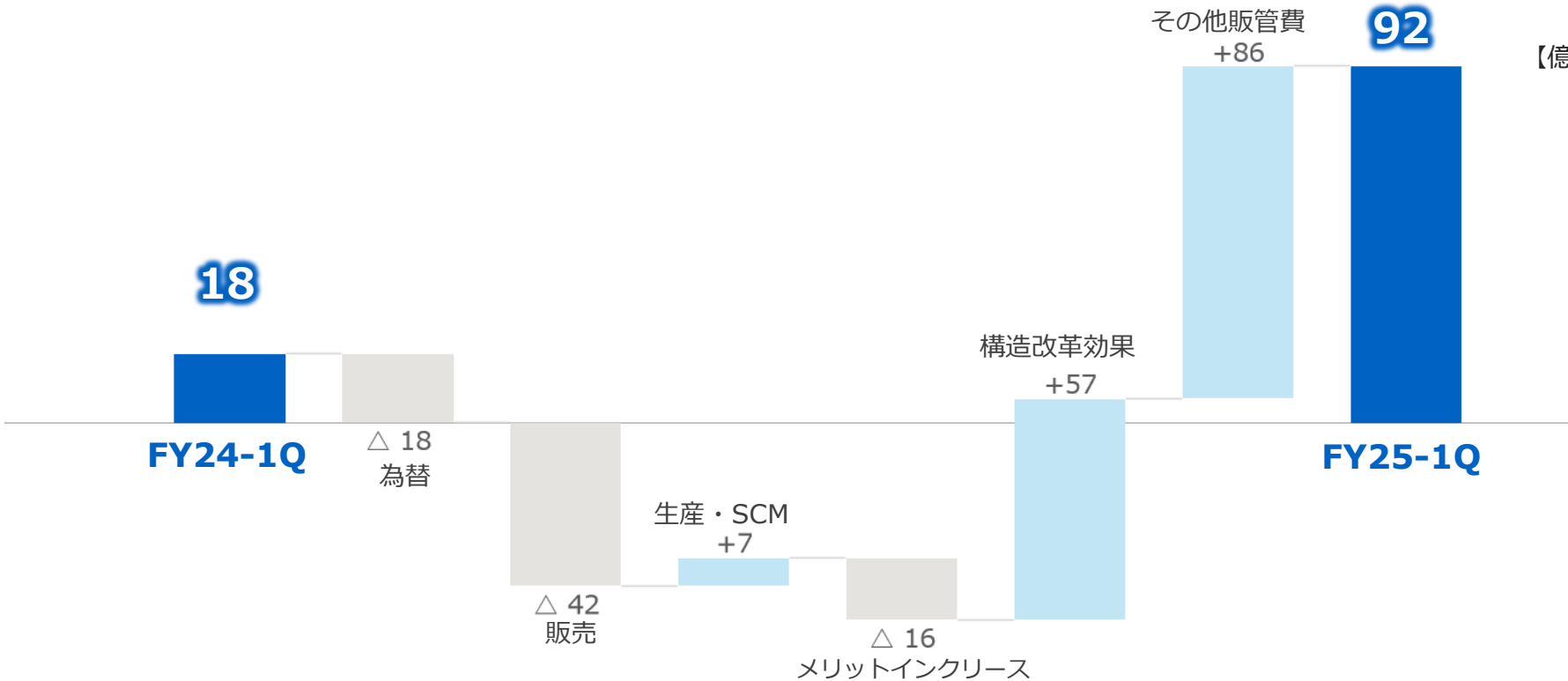
	非継続事業を含む	継続事業ベース			
	FY24 1Q	FY24 1Q	FY25 1Q	前期比	為替影響を除く 前期比
売上高	2,862	2,737	2,512	△ 8%	△ 4%
売上総利益	1,264	1,184	1,103	△ 7%	△ 2%
（売上総利益率）	44.2%	43.3%	43.9%	+0.6pt	
販売管理費	1,248	1,166	1,011	△ 13%	△ 10%
（販売管理費率）	43.6%	42.6%	40.2%	△ 2.4pt	
事業貢献利益 ^{*1}	16	18	92	+411%	+510%
（事業貢献利益率）	0.6%	0.7%	3.7%	+3.0pt	
営業利益	△ 4	△ 18	101	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 ^{*2}		△ 35	73	-	
FCF ^{*3}		△ 82	△ 188	-	
為替レート（円）					
USドル		155.88	144.59	△ 11.29	
ユーロ		167.88	163.80	△ 4.08	

*1 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

*2 *3 非継続事業分を含む

2025年度 1Q業績 | 事業貢献利益の増減要因

【億円】



	FY24 1Q	為替	販売	生産・SCM	メリット インクリース	構造改革効果	その他販管費	FY25 1Q
デジタルワークプレイス事業	68	$\Delta 6$	$\Delta 35$	+2	$\Delta 13$	+38	+21	74
プロフェッショナルプリント事業	18	$\Delta 8$	+2	+1	$\Delta 2$	+9	$\Delta 5$	14
インダストリー事業	38	$\Delta 1$	$\Delta 9$	+5	$\Delta 0$	+4	+7	43
画像ソリューション事業	$\Delta 40$	$\Delta 0$	$\Delta 2$	$\Delta 0$	$\Delta 1$	+4	+26	$\Delta 14$
コーポレート他	$\Delta 65$	$\Delta 2$	+3	-	-	+2	+37	$\Delta 25$
合計	18	$\Delta 18$	$\Delta 42$	+7	$\Delta 16$	+57	+86	92

営業利益・当期利益 詳細

FY24に事業の選択と集中を完遂し、FY25 1Qより効果刈り取りを実現

【億円】

	FY24 1Q	FY25 1Q	増減	増減要因
その他の収益	15	39	+ 24	
子会社株式売却益	0	23	+ 23	画像ソリューション Mobotixの為替換算調整勘定の実現益など
その他収益	15	16	+ 0	中国生産拠点（無錫）有形資産売却益、土地売却益など
その他の費用	52	30	△ 22	
子会社株式売却損	-	10	+ 10	プロダクションプリント 海外MPMの為替換算調整勘定の実現損など
有形固定資産及び無形資産除売却損	6	2	△ 4	
事業構造改善費用	30	2	△ 28	
その他費用	16	16	+ 0	
その他の収益・費用	△ 37	9	+ 46	
金融収益	17	19	+ 2	東京サイト日野 不動産信託受益権の取得による益 +11、為替差益△8
金融費用	30	31	+0	支払利息の減少△5、為替差損+3
金融収益・費用	△ 14	△ 12	+ 2	
非継続事業からの四半期利益	19	30	+ 11	Tempus AI株式評価益+49、および株式の一部売却による損△18

2025年度 1Q業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

【億円】

売上高	非継続事業を含む	継続事業ベース			
	FY24 1Q	FY24 1Q	FY25 1Q	前期比	為替影響を除く 前期比
デジタルワークプレイス事業	1,520	1,520	1,389	△ 9%	△ 4%
プロフェッショナルプリント事業	676	676	643	△ 5%	+ 0%
インダストリー事業	310	310	287	△ 7%	△ 5%
画像ソリューション事業	228	228	191	△ 16%	△ 13%
コーポレート他	2	2	1	△ 20%	△ 12%
非継続事業	126	-	-	-	-
全社合計	2,862	2,737	2,512	△ 8%	△ 4%

事業貢献利益	FY24 1Q	率	FY24 1Q	率	FY25 1Q	率	前期比	為替影響を除く 前期比
デジタルワークプレイス事業	68	4%	68	4%	74	5%	+ 9%	+ 19%
プロフェッショナルプリント事業	18	3%	18	3%	14	2%	△ 20%	+ 25%
インダストリー事業	38	12%	38	12%	43	15%	+ 13%	+ 17%
画像ソリューション事業	△ 40	-	△ 40	-	△ 14	-	-	-
コーポレート他	△ 65	-	△ 65	-	△ 25	-	-	-
非継続事業	△ 2	-	-	-	-	-	-	-
全社合計	16	1%	18	1%	92	4%	+ 411%	+ 510%

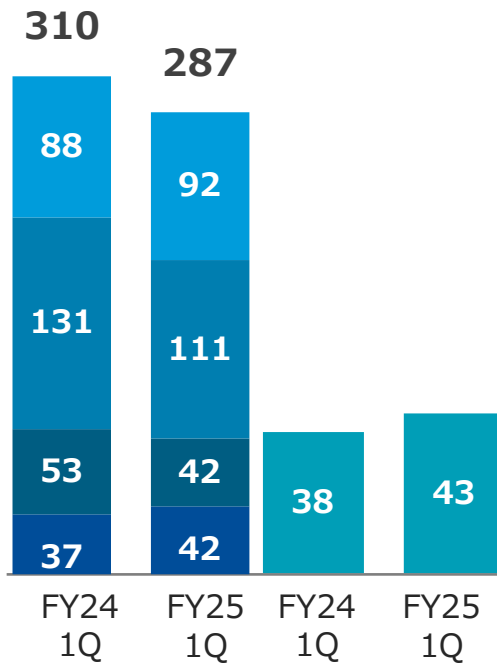
営業利益	FY24 1Q	率	FY24 1Q	率	FY25 1Q	率	前期比	為替影響を除く 前期比
デジタルワークプレイス事業	45	3%	45	3%	71	5%	+ 57%	+ 71%
プロフェッショナルプリント事業	17	2%	17	2%	4	1%	△ 73%	△ 25%
インダストリー事業	31	10%	31	10%	43	15%	+ 41%	+ 46%
画像ソリューション事業	△ 43	-	△ 43	-	6	3%	-	-
コーポレート他	△ 68	-	△ 68	-	△ 24	-	-	-
非継続事業	14	11%	-	-	-	-	-	-
全社合計	△ 4	-	△ 18	-	101	4%	-	-

2025年度 1Q業績 | インダストリー

売上高

事業貢献
利益

【億円】



- センシング
- 機能材料
- IJコンポーネント
- 光学コンポーネント

売上高
(対前年同期)

センシング
+4億円

- + 光源色：顧客の設備投資が緩やかに回復
- + 物体色、自動車外観

機能材料
△20億円

- － 大型（TV）：前年同期の一時的な需要増からの反動

IJコンポーネント
△11億円

- － 主にサイングラフィックス用途で中国国内の内需減少
- + 段ボール印刷を含むコーディング用途は好調

光学コンポーネント
+5億円

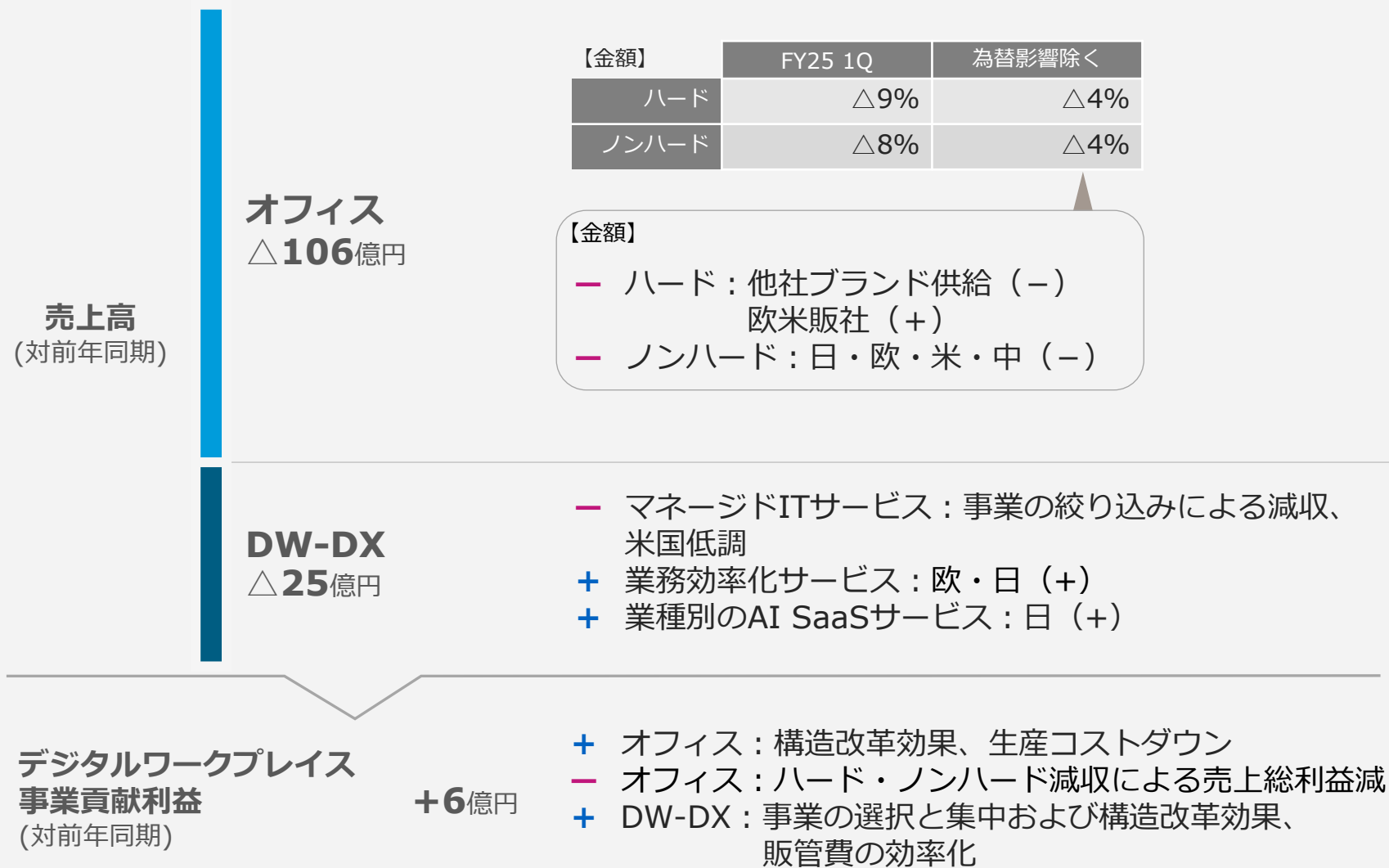
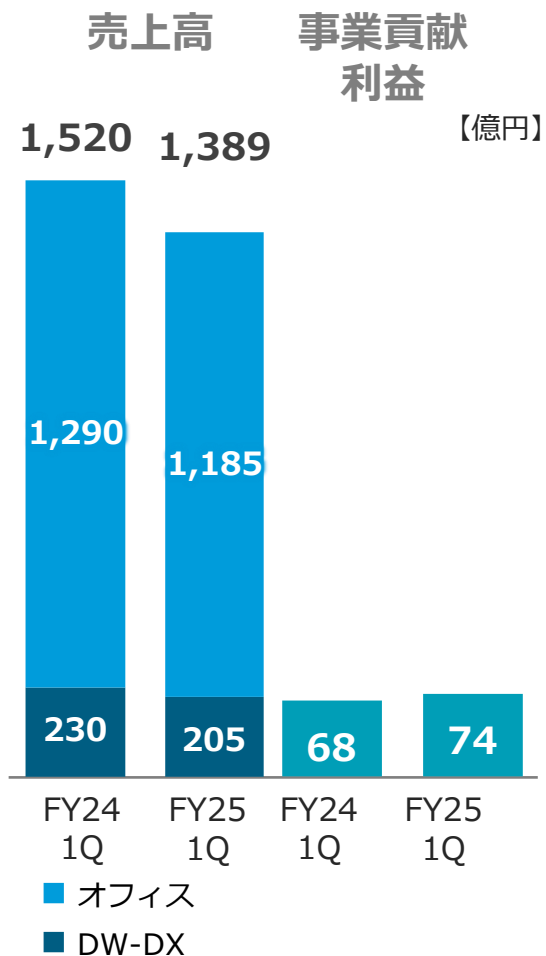
- + プロジェクタ、半導体製造装置向け

インダストリー
事業貢献利益
(対前年同期)

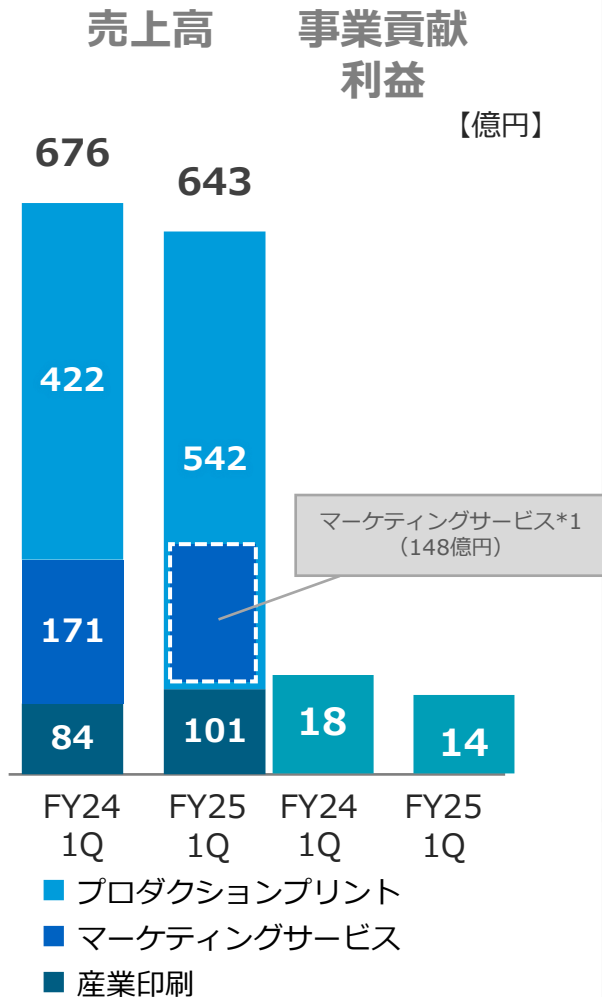
+5億円

- + センシング、光学コンポ：売上増に伴う売上総利益増
- + グローバル構造改革効果による販管費の減少

2025年度 1Q業績 | デジタルワークプレイス



2025年度 1Q業績 | プロフェッショナルプリント



売上高
(対前年同期)

プロダクション
プリント
△51億円

産業印刷
+17億円

プロフェッショナルプリント
事業貢献利益
(対前年同期) △4億円

【金額】	FY25 1Q	為替影響除く
ハード	△11%	△5%
ノンハード	△5%	+0%

【金額】

- ハード : 米・欧・印 (-)、中 (+)
- + ノンハード : 印 (+)、欧 (±)、米・中 (-)

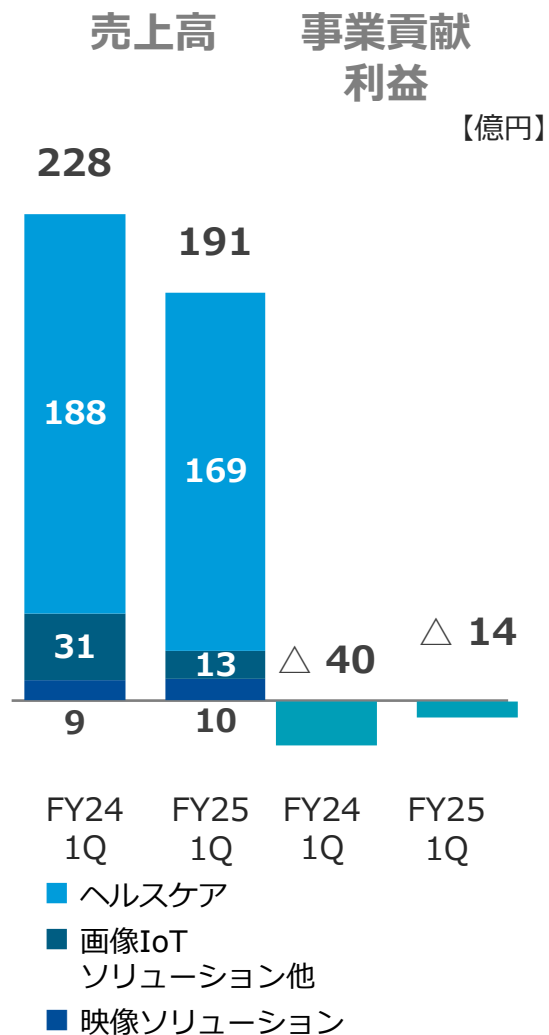
【台数】	FY25 1Q
カラー機	△4% (HPP△8%、MPP+22%)

- + ハード : ラベル・加飾 (+)、インクジェット (-)
- + ノンハード : インクジェット (+)、テキスタイル (-)

- プロダクションプリント : 為替影響、ハード減収による売上総利益減
- + プロダクションプリント : 構造改革効果
- + 産業印刷 : 物量増により損失縮小

*1 当連結会計年度より、マーケティングサービスをプロダクションプリントに統合して表示

2025年度 1Q業績 | 画像ソリューション



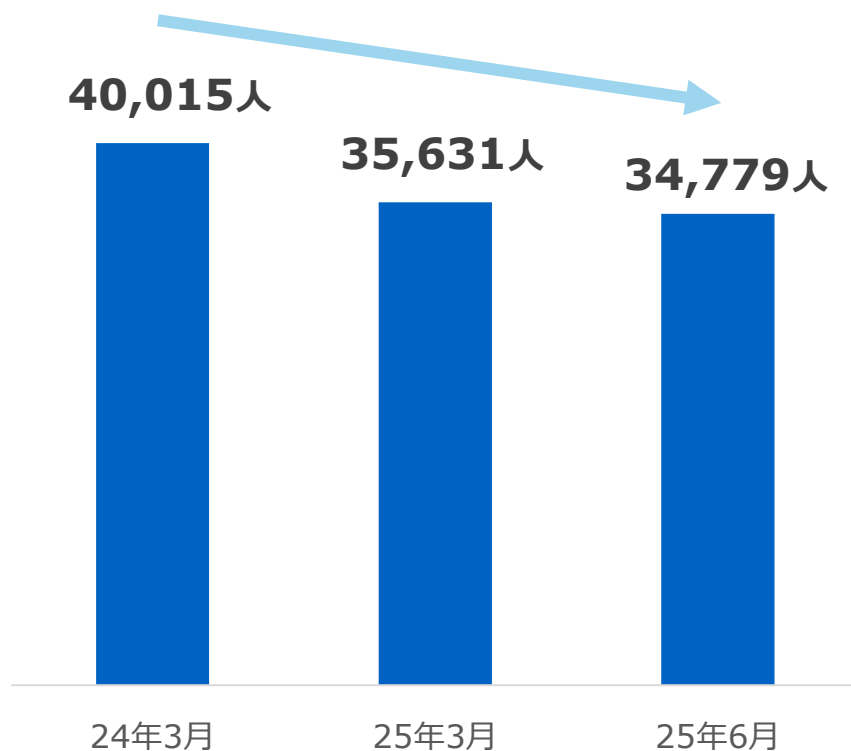
売上高 (対前年同期)	ヘルスケア △19億円	<ul style="list-style-type: none"> - X線フィルム：中 + 動態解析：米・中 + 医療IT：日・米 + アジア伸長
	画像IoTソリューション他*1 △18億円	<ul style="list-style-type: none"> - 画像IoTソリューション：事業の選択と集中 (Mobotix株式の譲渡) + 海外販売会社堅調
	映像ソリューション +1億円	<ul style="list-style-type: none"> + 海外LEDソリューション販売
画像ソリューション 事業貢献利益 (対前年同期)		
+26億円		<ul style="list-style-type: none"> + ヘルスケア：構造改革効果、減価償却費減少 + 画像IoTソリューション：事業の選択と集中による赤字縮小

*1 FORXAIとQOLソリューションを含む

人員の最適化

- グローバル構造改革および事業の選択と集中をFY24に完了し、人員の最適化が進展

グループ従業員数



事業の選択と集中による25年3月以降の人員減

- マーケティングサービスのMPM 735人
- Mobotix 259人

2025年度業績予想 Turn Around 2025



KONICA MINOLTA



© KONICA MINOLTA

2025年度 業績予想 | サマリー

- 米国相互関税影響を吸収し、期初想定から変更なし
- ユーロに対する為替前提の変更（150円→160円）、価格対応や追加経費削減等で吸収
- コーポレートにリスクとして織り込んでいた分をセグメント別に反映
- FCFは米国相互関税影響により下方修正

【億円】

	FY24 実績	FY25 予想	差異		
売上高	11,279	10,500	△779		
事業貢献利益	319	525	+206		
営業利益	△ 640	480	+1,120		
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△ 475	240	+715		
配当 (円/1株)	0	10	+10		
ROE (%)	-	5	-		
設備投資額 ^{*1}	416	450	+34		
減価償却費及び償却費 ^{*2}	528	500	△28		
研究開発費	596	580	△16		
FCF	757	350	△407		
		(前回 : 445)			
				為替感応度	
為替レート (円)			*3	売上高	営業利益
USドル	152.58	144.90	△ 7.68	+26	△ 1
ユーロ	163.75	160.95	△ 2.80	+16	+4

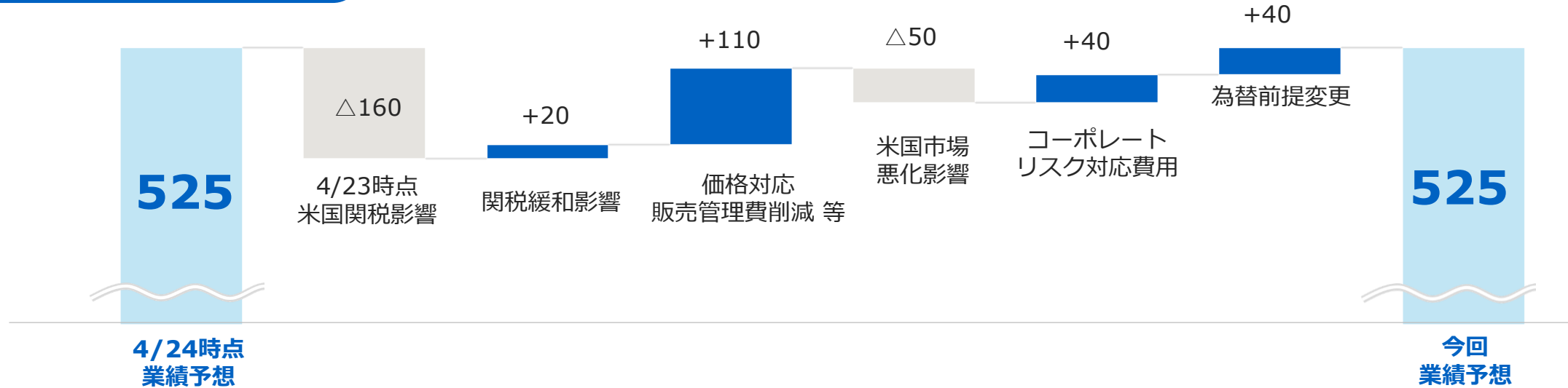
*¹東京サイト日野の信託受益権取得にかかる費用は含まず *² 減価償却費及び償却費は非継続事業分を含む *³ 為替レートは実績と予想の加重平均

2025年度 業績予想 | 米国相互関税影響

- 米国相互関税の影響は日本時間7/28時点の情報を基に試算し、前回（4/24時点）160億円から140億円に修正
- 価格対応、販管費削減、ユーロ為替前提変更により、米国市場悪化影響等の関税影響を吸収

事業貢献利益 増減分析

【億円】



主な生産地

オフィス	マレーシア、日本
プロフェッショナルプリント	中国、日本、欧州
センシング	日本、欧州、アメリカ
ヘルスケア	日本

前提となる関税率*

中国	61.5%
マレーシア	25%
欧州	15%
日本	15%

*日本時間 7/28 時点の
米国政府公表条件

2025年度 業績予想 | 売上高・事業貢献利益・営業利益

【億円】

売上高	FY24 実績	FY25 前回予想	FY25 今回予想	差異
デジタルワークプレイス事業	6,164	5,700	5,700	-
プロフェッショナルプリント事業	2,847 *1	2,440	2,440	-
インダストリー事業	1,193	1,300	1,300	-
画像ソリューション事業	1,069	1,060	1,060	-
コーポレート他	7	0	0	-
全社合計	11,279	10,500	10,500	-

事業貢献利益	FY24 実績	率	FY25 前回予想	率	FY25 今回予想	率	差異
デジタルワークプレイス事業	358	6%	390	7%	380	7%	△10
プロフェッショナルプリント事業	130	5%	165	7%	135	6%	△30
インダストリー事業	140	12%	210	16%	210	16%	-
画像ソリューション事業	△ 103	-	0	-	0	-	-
コーポレート他	△ 205	-	△ 240	-	△ 200	-	+40
全社合計	319	3%	525	5%	525	5%	-

営業利益	FY24 実績	率	FY25 前回予想	率	FY25 今回予想	率	差異
デジタルワークプレイス事業	140	2%	390	7%	380	7%	△10
プロフェッショナルプリント事業	△ 132	-	165	7%	135	6%	△30
インダストリー事業	△ 127	-	210	16%	210	16%	-
画像ソリューション事業	△ 259	-	0	-	0	-	-
コーポレート他	△ 261	-	△ 285	-	△ 245	-	+40
全社合計	△ 640	-	480	5%	480	5%	-

*1 海外MPM事業 約413億円を含む

デジタルワークプレイス

オフィス：

- 高速機拡大とノンハード下落の最小化による中長期収益の最大化
- DXによる生産・販売・サービスの効率化

DW-DX：

- FY24に実行した事業の選択と集中の効果
- 業務効率化サービスとAI SaaSサービス※の拡大

プロフェッショナルプリント

プロダクションプリント：

- HPP※とMPP※の拡大
- DXによる生産・販売・サービスの効率化

産業印刷：

- UVインクジェット機とデジタルラベル機の拡大
- 販売・サービス体制の強化

インダストリー

センシング：

- ディスプレイの機能進化を捉えた光源色用の拡大
- HSI、自動車外観のグローバル拡大

機能材料：

- SANUQI ※の生産能力強化、VA位相差の競争力強化
- 新製品SAZMA ※で表面保護領域へ参入

IJコンポーネント：

- 工業用途向けインクジェットヘッドの拡大

光学コンポーネント：

- 半導体製造装置向けの拡大

画像ソリューション

ヘルスケア：

- X線動態の価値訴求によるデジタルX線の拡大
- 医療ITサービスのグローバル拡大

財務基盤の強化 | バランスシートの状況 (2024年度末比)

総資産 △523億円 (為替除く実質 △542億円)

流動資産

(運転資本)

- 営業債権 : △154億円 情報機器事業を中心に圧縮

(事業の選択と集中)

- 売却目的保有資産 : △244億円 海外MPM、Mobotixの事業譲渡
- その他の金融資産 : △148億円 Tempus AI株式売却、評価益

非流動資産

- 有形固定資産 : △124億円 東京サイト日野の信託受益権取得 等

負債 △557億円 (為替除く実質 △560億円)

(有利子負債)

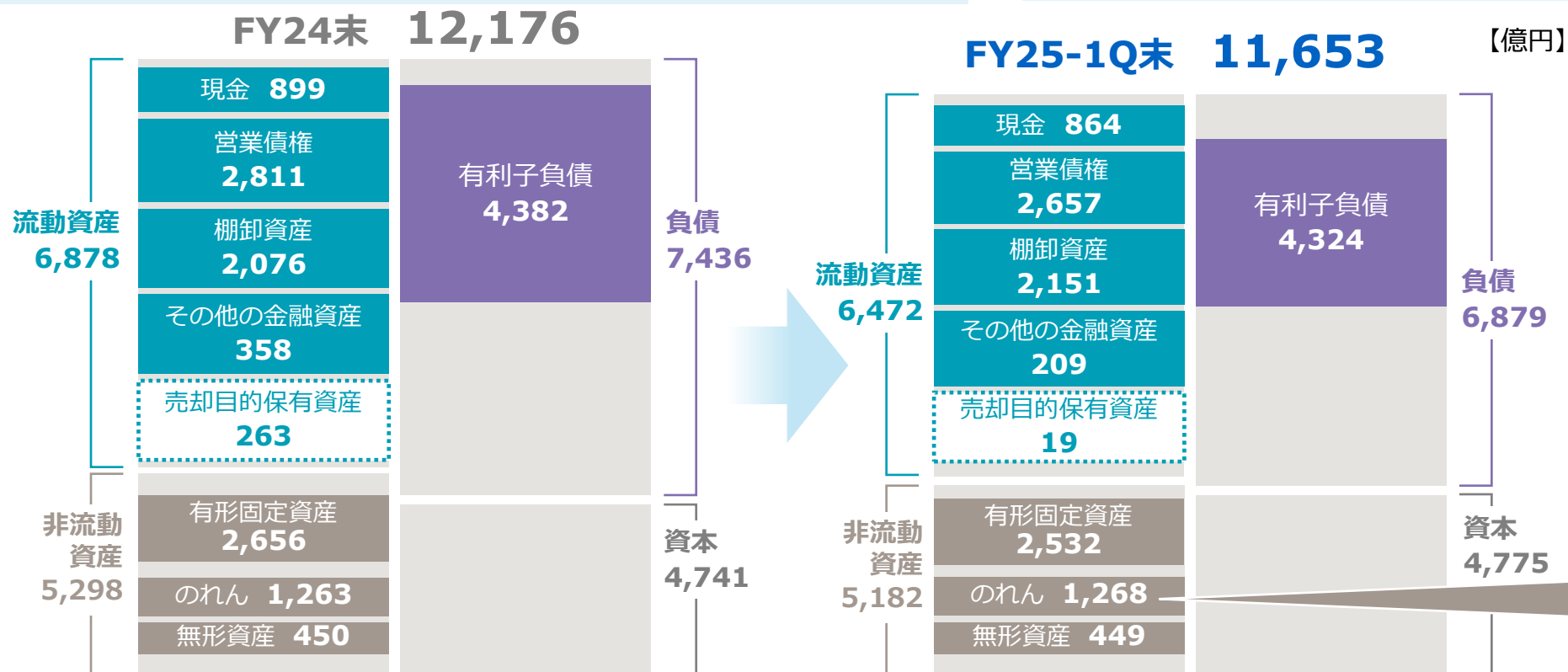
- 社債及び借入金 : +189億円
- リース負債 : △248億円 東京サイト日野の信託受益権取得 等

(その他負債)

- 引当金 : △173億円 事業の選択と集中に係る引当金 等

(事業の選択と集中)

- 売却目的保有負債 : △148億円



為替レート [円]

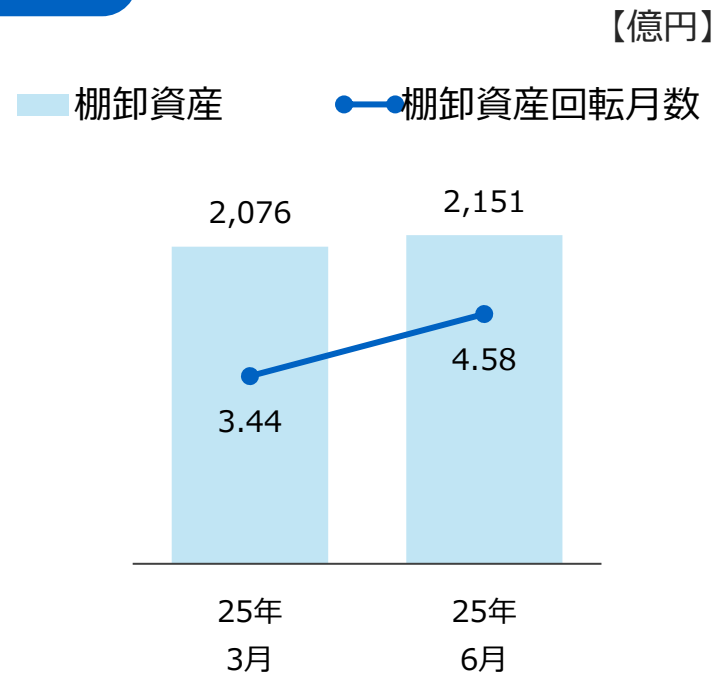
	2025年 3月末	2025年 6月末
米ドル	149.52	144.81
ユーロ	162.08	169.66
人民元	20.59	20.19

統合のれん : 約450億円
情報機器販社等のれん : 約630億円

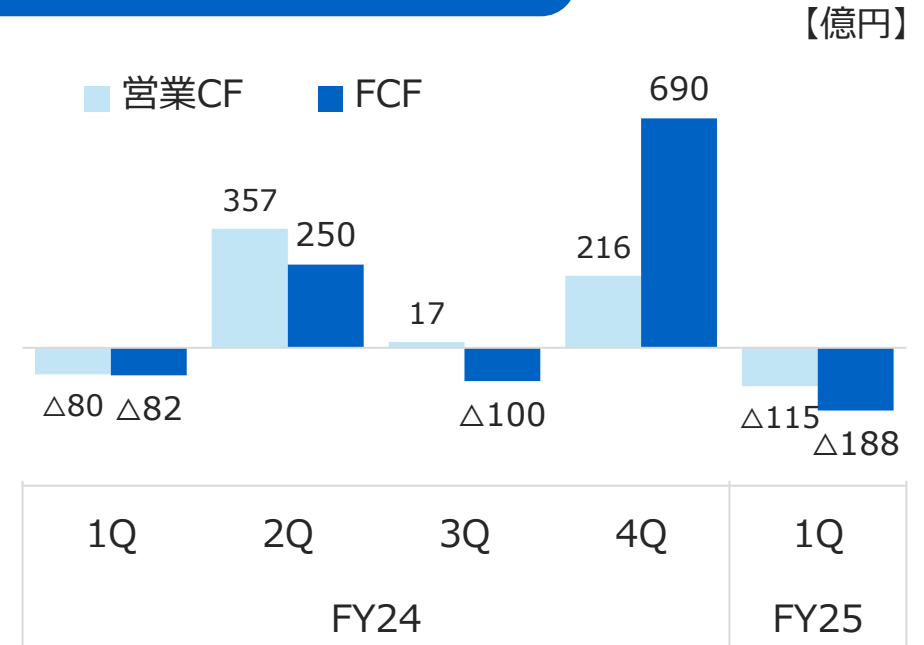
財務基盤の強化 | 棚卸資産、営業キャッシュ・フロー／FCF

- 棚卸資産： **+75億円**（対前期末）米国相互関税対応のため、情報機器事業を中心に増加
- 営業CF： **△115億円**
 - ✓ +89億円 税引前四半期利益（継続事業ベース）
 - ✓ +57億円 運転資本
 - ✓ △226億円 その他
- 投資CF： **△73億円**
 - ✓ +170億円 投資有価証券の売却（Tempus AI株式売却収入）
 - ✓ +21億円 子会社の売却による支出・収入
 - ✓ △249億円 有形固定資産の取得による支出（東京サイト日野の信託受益権取得含む）

棚卸資産



営業キャッシュ・フロー／FCF



決算関連

- 11月5日 2Q決算説明会
- 2026年2月5日 3Q決算説明会

説明会

成長の芽

- 秋頃 再生プラスチック材料製造
- 下期 半導体製造装置向け光学コンポーネント
ペロブスカイト太陽電池バリアフィルム

ESG

- 2026年1~3月頃 ESG説明会

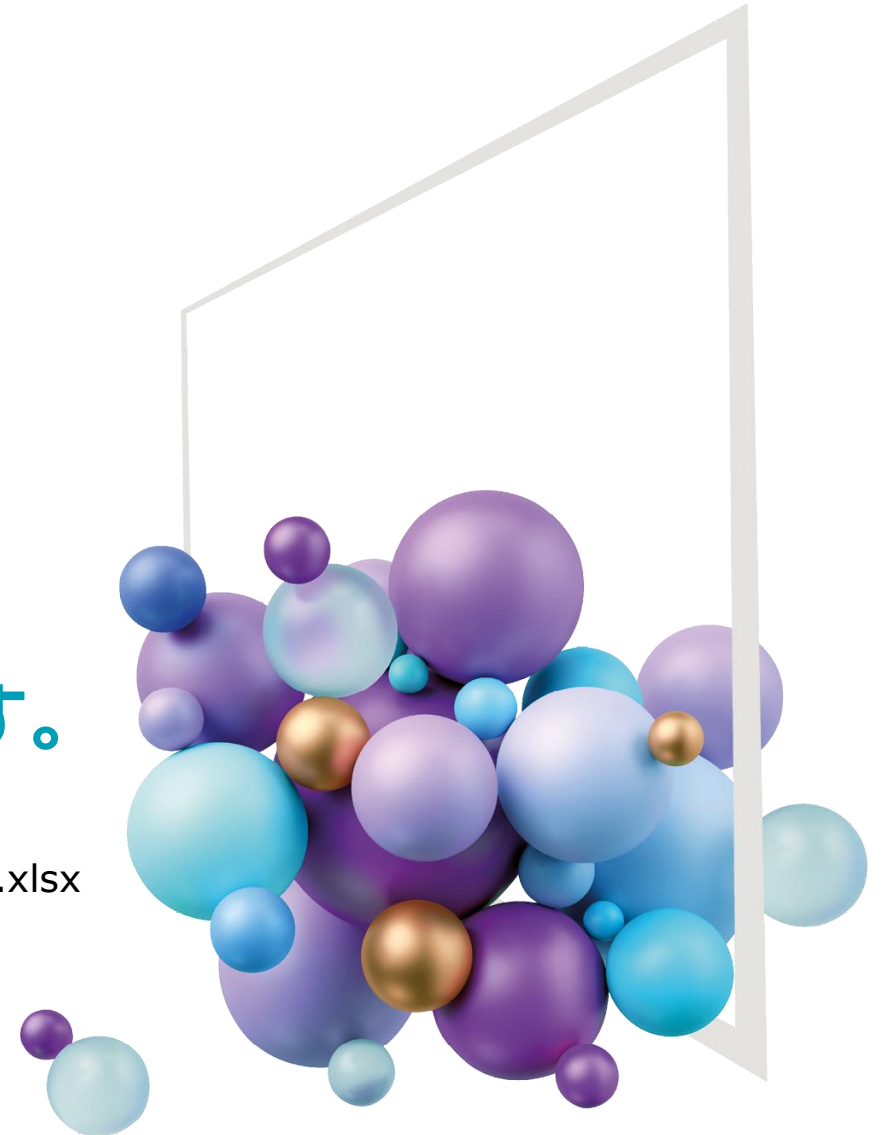


KONICA MINOLTA

APPENDIX

開示しておりました一部資料は
ウェブ上の開示に変更しました。
以下よりダウンロードしてご確認ください。

https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/fr/pdf/2026/2026_1q_presentation_supplementary.xlsx



【億円】

	FY24 1Q	FY25 1Q	前期比
売上高	2,737	2,512	△8%
売上総利益	1,184	1,103	△7%
（売上総利益率）	43.3%	43.9%	+0.6pt
販売管理費	1,166	1,011	△13%
事業貢献利益	18	92	+411%
（事業貢献利益率）	0.7%	3.7%	+3.0pt
その他収益・費用	△ 36	9	-
営業利益	△ 18	101	-
（営業利益率）	-	4.0%	-
金融収支	△ 14	△ 12	-
税引前利益	△ 32	89	-
（税引前利益率）	-	3.5%	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 35	73	-
（親会社の所有者に帰属する当期利益率）	-	2.9%	-
EPS（円）	△ 6.98	14.74	-
設備投資額 ^{*1}	78	250	+221%
減価償却費及び償却費 ^{*2}	133	98	△26%
研究開発費	148	131	△12%
FCF	△ 82	△ 188	-
投融資	-	-	-

プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、FY24期初に遡及して売上高から税引前利益、研究開発費の実績から除外しています。

*1東京サイト日野の信託受益権取得にかかる費用を含む

*2 IFRS16による使用权資産償却費は含まない

セグメント別四半期推移

【売上高】	FY24					【億円】
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	FY25 1Q
デジタルワークプレイス事業	1,520	1,556	1,509	1,578	6,164	1,389
オフィス	1,290	1,334	1,299	1,350	5,274	1,185
DW-DX	230	222	210	228	890	205
プロフェッショナルプリント事業	676	714	685	771	2,847	643
プロダクションプリント	422	441	436	463	1,763	542
産業印刷	84	119	96	145	443	101
マーケティングサービス *1	171	155	153	163	641	-
インダストリー事業	310	295	287	301	1,193	287
センシング	88	93	96	103	381	92
機能材料	131	107	98	95	432	111
IJコンポーネント	53	47	44	56	200	42
光学コンポーネント	37	48	49	46	180	42
画像ソリューション事業	228	276	256	309	1,069	191
ヘルスケア	188	226	206	245	864	169
画像IoTソリューション他 *2	31	36	36	42	146	13
映像ソリューション	9	14	14	22	60	10
コーポレート他	2	1	2	2	7	1
プレジジョンメディシン事業	126	133	-	-	-	-
全社合計	2,862	2,975	2,740	2,960	11,279	2,512

*プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、FY24 3Q以降は実績から除外、通期もFY24期初に遡及して除外しています。（水色が該当箇所）

*1 FY25より、マーケティングサービスユニットを、プロダクションプリントユニットに統合

*2 「QOLソリューション」「FORXAI」の売上高込み

セグメント別四半期推移

【億円】

【事業貢献利益】	FY24					FY25
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
デジタルワークプレイス事業	68	123	110	57	358	74
プロフェッショナルプリント事業	18	48	42	22	130	14
インダストリー事業 *1	38	38	32	33	140	43
画像ソリューション事業 *2	△ 40	△ 9	△ 22	△ 31	△ 103	△ 14
コーポレート他 *3	△ 65	△ 53	△ 37	△ 50	△ 205	△ 25
プレジジョンメディシン事業	△ 2	16	-	-	-	-
全社合計	16	162	125	31	319	92

【営業利益】	FY24					FY25
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
デジタルワークプレイス事業	45	21	90	△ 16	140	71
プロフェッショナルプリント事業	17	33	39	△ 221	△ 132	4
インダストリー事業 *1	31	41	△ 249	49	△ 127	43
画像ソリューション事業 *2	△ 43	△ 17	△ 16	△ 185	△ 259	6
コーポレート他 *3	△ 68	△ 70	△ 39	△ 84	△ 261	△ 24
プレジジョンメディシン事業	14	△ 12	-	-	-	-
全社合計	△ 4	△ 3	△ 174	△ 456	△ 640	101

プレジジョンメディシン事業は非継続事業のため、FY24 3Q以降は実績から除外、通期もFY24期初に遡及して除外しています。（水色が該当箇所）

*1 インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント、インダストリー事業戦略室、インダストリー事業開発センター

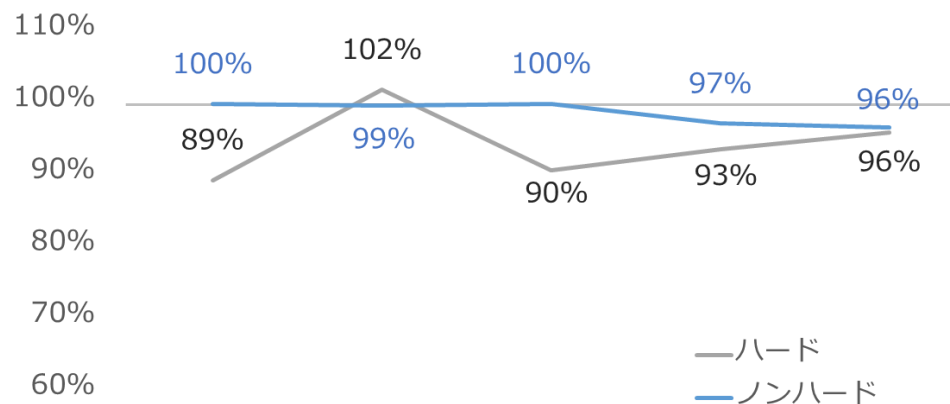
*2 画像ソリューション事業：ヘルスケア（旧メディカルイメージング）、画像IoTソリューション他（QOLソリューション、FORXAI含む）、映像ソリューション

*3 コーポレート他：技術開発本部、その他コーポレート

2025年度 1Q業績 | ハード・ノンハード売上 対前期

為替影響を除く

オフィス

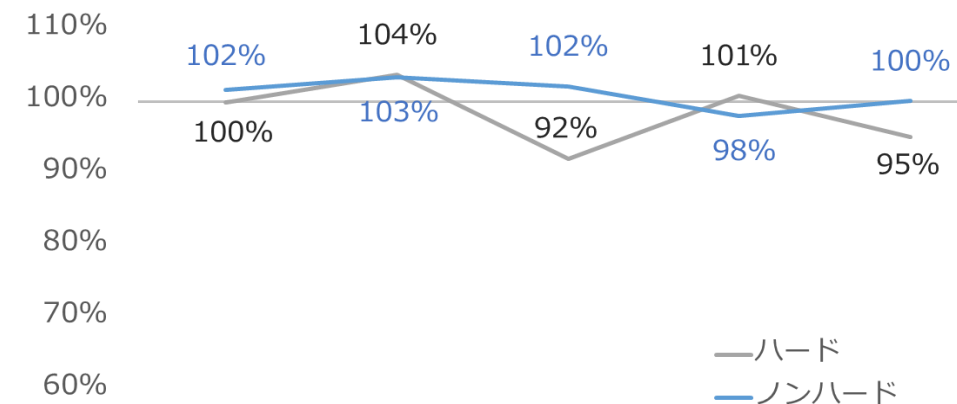


1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
FY24				FY25

ノンハード地域別

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	98%	96%	96%	96%	97%
米国	100%	97%	96%	95%	99%
欧州	96%	101%	99%	94%	96%
中国	107%	85%	122%	88%	95%
インド	108%	119%	116%	113%	100%
合計	100%	99%	100%	97%	96%

プロダクションプリント



1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
FY24				FY25

ノンハード地域別

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	99%	97%	95%	98%	98%
米国	101%	102%	98%	94%	93%
欧州	97%	104%	99%	97%	100%
中国	104%	88%	118%	95%	97%
インド	104%	110%	110%	106%	112%
合計	102%	103%	102%	98%	100%

主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度

【為替レート：円】
【影響額、感応度：億円】

	FY24	FY25	対前年影響額		為替感応度*2	
	1Q	1Q	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	155.88	144.59	△ 64	△ 2	+25	△ 0
ユーロ	167.88	163.80	△ 14	△ 5	+16	+4
ポンド	196.85	193.01	△ 2	+0	+2	+1
欧州通貨*1	-	-	△ 24	△ 6	+22	+8
人民元	21.48	19.99	△ 9	△ 2	+27	+7
その他	-	-	△ 24	△ 7	-	-
予約影響額	-	-	-	+0	-	-
合計	-	-	△ 121	△ 17	-	-

*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

組織変更に伴う開示セグメントの変更

FY24

情報機器事業	デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス ■ DW-DX
	プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント ■ 産業印刷 ■ マーケティングサービス
インダストリー事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ センシング ■ 機能材料 ■ IJコンポーネント ■ 光学コンポーネント
画像ソリューション事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア ■ 画像IoTソリューション他 (含むQOLソリューション、FORXAI) ■ 映像ソリューション
コーポレート他（技術開発本部、他CO）		

非継続事業

プレジジョンメディシン事業

FY25 1Q以降

情報機器事業	デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ オフィス ■ DW-DX
	プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント (含むマーケティングサービス) ■ 産業印刷
インダストリー事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ センシング ■ 機能材料 ■ IJコンポーネント ■ 光学コンポーネント
画像ソリューション事業		<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルスケア ■ 画像IoTソリューション他 (含むQOLソリューション、FORXAI) ■ 映像ソリューション
コーポレート他（技術開発本部、他CO）		

非継続事業

プレジジョンメディシン事業

- 事業貢献利益：
売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標
- HSI：センシングユニット
ハイパースペクトルイメージング。広範囲の波長を多数に分割して撮像する方法。当技術を用いることで、人の目やRGBカメラでは判別が不可能なプラスチックの種類の分別が可能となる。
- SANUQI：機能材料ユニット
ディスプレイ用の電子デバイスの構成部材として使用される、新樹脂フィルムの商標。
- SAZMA
ディスプレイ用の電子デバイスの構成部材として使用される、アクリル素材の新フィルムの商標。従来品にはない表面加工のしやすさと光学等方性が特長のフィルム
- カラープロダクションプリント機セグメント：プロフェッショナルプリント事業
ELPP (Entry Light Production Print) 月間印刷量10-30万枚、主に大企業の集中印刷室向け低価格帯商品
LPP (Light Production Print) 月間印刷量10-30万枚、商業印刷向け商品
MPP (Mid Production Print) 月間印刷量30-100万枚、商業印刷向け商品
HPP (Heavy Production Print) 月間印刷量100万枚以上、商業印刷向け商品
- MPM：マーケティングサービスユニット
Marketing Print Management。大手グローバル企業のマーケティング部門を対象として、顧客の販促用印刷物の投資対効果を最適化するサービス
- 業務効率化サービス：DW-DXユニット
ビジネスコンテンツの管理や業務プロセス管理を提供するサービス
- AI SaaSサービス：DW-DXユニット
AIを用いた通訳、ナレッジマネジメント、学習支援などの自社開発サービス
- マネージドITサービス：DW-DXユニット
企業のIT部門の業務全般を支援・サポートするサービス。PC/ Server、OS、ソフトウェア、ネットワークなどの導入計画立案、導入、運用代行・支援、管理、保守、回収代行などのライフサイクルをサポートするサービス
- FORXAI：画像IoTソリューション他ユニット
AI技術を中心とした全社共通技術基盤を展開するユニット
- QOLソリューション：画像IoTソリューション他ユニット
介護施設向けモニタリングソリューションを展開するユニット



KONICA MINOLTA

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来予想に係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。